

# 心身障害者扶養保険財務状況将来予測

～ 平成29年度決算データによる ～

平成30年10月1日(月)

心身障害者扶養保険事業財務状況検討会

独立行政法人福祉医療機構

# 目 次

I 将来予測等の概要	1
1. はじめに	1
2. 将来予測の概要	2
(1) 計算の前提	2
①基礎数値	
②基礎率	
③将来の新規加入者	
④保険料	
⑤公費負担	
⑥運用利回り	
(2) 人数の推移	2
①加入者の推移	
②年金受給者数の推移	
(3) 保険収支予測	3
(4) 年金収支予測	3
3. 積立比率	4
(1) 積立比率について	4
(2) 平成19年度以前加入者にかかる積立比率について	4
(3) 平成20年度以降加入者にかかる積立比率について	4
4. 責任準備金	5
(1) 責任準備金の算定方法	5
(2) 平成29年度責任準備金の金額	5
5. まとめ	6
II 平成29年度決算データによる将来予測結果	8
1. 計算の前提	8
(1) 基礎数値	8
(2) 基礎率	9
(3) 将来の新規加入者数	9
(4) 保険料	9
(5) 公費負担	9
(6) 運用利回り	9
2. 人数の推移	10
(1) 加入者数の推移(新規加入者数500人)	10
(2) 年金受給者数の推移(新規加入者500人)	11
3. 保険収支予測	12
4. 年金収支予測	13
参考1 新規加入者数1000人の場合	14
○ 人数の推移	14
(1) 加入者数の推移	14
(2) 年金受給者数の推移	15
○ 保険収支予測	16
○ 年金収支予測	17

参考2	現在加入者のみの場合 .....	18
○	人数の推移.....	18
	(1) 加入者数の推移 .....	18
	(2) 年金受給者数の推移.....	19
○	保険収支予測 .....	20
○	年金収支予測 .....	21
	5. 積立比率について .....	22
	6. 責任準備金(平成29年度末現在) .....	23
○	心身障害者扶養保険事業財務状況検討会委員名簿.....	24

# I 将来予測等の概要

---

## 1. はじめに

---

「心身障害者扶養保険事業財務状況検討会」は、心身障害者扶養保険事業の健全かつ安定的な運営を確保するため、平成13年度以来、この制度の財務状況について長期的観点に立って分析検討し、毎年度将来予測を実施するとともに、国、地方公共団体、障害者団体等の関係者に報告又は情報提供を行ってきた。

平成19年度には、本制度の安定的な運営を図るため、国において制度の在り方についての検討が行われ、平成20年4月から、保険料水準の見直し、公費による財政支援の延長等を骨子とした制度改正が実施された。

昨年度、国において少なくとも5年ごとに実施することとされている保険料水準等の見直しの検証が行われ、検証に用いる加入者死亡率や運用利回り等を見直した上で検証を行った結果、保険料水準等の制度の見直しの必要性はないとされたが、安定的な運営を図り、将来にわたり障害者に対する年金給付を確実に行うため、新たな指標(積立比率)も用いながら、引き続き毎年度財務状況の検証等を行っていくとされている。

これを受け、今年度においては、加入者死亡率等の基礎率や運用利回りについて、昨年度の国における検証で用いられたものを使用し、基礎数値を平成29年度末の実績値に置き換え、将来予測を行った。

なお、本文及び予測結果中における元号表記については、「平成」が来年度(平成31年度)で終了することが公表されているところではあるが、現時点で新たな元号が公表されていないため、便宜上「平成」にて表記している。

## 2. 将来予測の概要

---

### (1) 計算の前提

#### ① 基礎数値

加入者等の基礎数値は、平成29年度末の実績値を用いた。

#### ② 基礎率

昨年度の国における検証において用いられた基礎率(障害者死亡率については平成15年～17年度実績を基礎とした率)を用いた。

基礎数値等の変化が将来予測に与える影響を確認するため、毎年度の財務状況の検証等においては、上記基礎率を使用するものとしている。

#### ③ 将来の新規加入者数

平成30年度以降、新規加入者が毎年500人であるとして試算を行った。

#### ④ 保険料

平成20年度改正後の加入者年齢階級毎の保険料を用いた。

#### ⑤ 公費負担

昨年度の国における検証で用いられた公費負担の見通しを使用した。具体的には、保険収支及び年金収支にそれぞれ平成40年度まで毎年46億円、平成41年度は保険収支31億円、年金収支61億円、平成42年度から平成65年度まで年金収支92億円、平成66年度に年金収支69億円とした。

#### ⑥ 運用利回り

運用利回りについては、保険収支、年金収支ともに1.5%として試算を行った。

上記の前提における将来予測を「メインシナリオ」としているが、当報告書においては参考として、新規加入者数が毎年1000人となるシナリオ(14～17ページ)や、新規加入者数が0人(現在加入者のみ)となるシナリオ(18～21ページ)についても将来予測を行った。

なお、(2)以降については、「メインシナリオ」について結果を記載している。

### (2) 人数の推移

#### ① 加入者数の推移

加入者数は、平成29年度末では64,952人であり、新規加入者数を毎年500人として推計すると、今後、年々減少を続け、10年後には約4万1千人強となり、さらに減少を続ける。

保険料免除者数は、平成29年度末では約4万5千人であるが、年々減少傾向と

なる。

また、加入者の平均年齢は、平成29年度末では73.5歳であるが、その後、毎年徐々に上昇し平成40年度末の75.8歳がピークとなり、その後は下降傾向となる。

## ② 年金受給者数の推移

年金受給者数は、平成29年度末で56,534人であるが、新規裁定者数が失権者数を上回っているため年々増加し、平成42年度末の約6万7千人をピークに、その後は減少傾向となる。

平成29年度末では加入者数に対する年金受給者数の割合は、87.0%であるが、3年後の平成32年度には年金受給者数が加入者数を上回る。

年金受給者の平均年齢は、平成29年度末で60.6歳であるが、毎年徐々に上昇し、平成37年度には65歳を超え、その後も上昇する。

## (3) 保険収支予測

保険料収入は、加入者数の減少により年々減少傾向となる。支出(保険金、弔慰金、脱退一時金)についても、年々減少傾向となる。

平成30年度から平成40年度まで、収支が黒字となっているが、公費投入の最終年度となる平成41年度には赤字に転じ、以降は資産を取り崩すことによって支出を賄っていくこととなる。

## (4) 年金収支予測

保険金収入は、年々減少する。支出は、年々増加するが、平成42年度をピークにその後は減少傾向となる。

平成31年度から平成41年度までは、収支が赤字になるが、公費投入額が増加する平成42年度以降の収支は概ね黒字となり資産も増加する。

公費負担終了後の平成67年度以降は、資産を取り崩すことで支出を賄っていくこととなる。

### 3. 積立比率

---

#### (1) 積立比率について

平成29年度に開催された心身障害者扶養保険事業に関する検討会において取りまとめられた報告書の中で、「扶養保険制度の安定的な運営を図り、将来にわたり障害者に対する年金給付を確実にを行うため、毎年度、積立比率も用いて財政の健全化を検証し、その結果を公表するもの」とされている。

積立比率とは、仮に、次年度以降の保険料収入や公費投入を見込まなかったとした場合、これまで保険料を支払った分の給付を行うのに必要な額(過去期間分給付現価)のうち、年度末保有積立金で賄える割合を示すものである。数値は、「保険(年金)資産÷(給付現価－収入現価)」（収入現価は公費現価を除く）により算出し、「年度末保有積立金(保険資産または年金資産)÷年度末加入者または年度末受給者の過去期間分給付現価」に相当するものであり、その数値が「1」を上回っていれば、保険(年金)資産は、過去期間分保険金等(年金)給付現価を上回っていることから、過去期間分の給付が賄えるものと考えられる。

上記検討会の報告書を受け、今年度から、本検討会においてこの積立比率を用いた検証を行うこととする。検証にあたっては、公費が投入されている平成19年度以前加入者分と、公費が投入されていない平成20年度以降加入者分に分けて行っている。

平成19年度以前加入者分については、公費投入期間であるため、「1」を上回っているかについてではなく、昨年度の国における見通しに対する実績値の乖離状況について、運用利回りを1.5%としたケースと0.25%(標準利率)としたケースにおいてそれぞれ検証している。

#### (2) 平成19年度以前加入者分にかかる積立比率について

平成29年度実績をみると、保険収支、年金収支ともに、昨年度の国における見通しに対し大きな乖離は生じていない。

##### 【運用利回り1.5%ケース】

将来見通し:保険収支:0.6 年金収支:0.3

平成29年度実績:保険収支:0.6 年金収支:0.3

##### 【運用利回り0.25%ケース】

将来見通し:保険収支:0.5 年金収支:0.2

平成29年度実績:保険収支:0.5 年金収支:0.2

#### (3) 平成20年度以降加入者分にかかる積立比率について

平成29年度実績をみると、保険収支、年金収支ともに「1」を上回っている(保険収支:1.4、年金収支:1.1)。

## 4. 責任準備金

---

### (1) 責任準備金の算定方法

毎事業年度末現在において積み立てるべき責任準備金は、厚生労働大臣が定めるところにより、「事業年度末現在における年金受給者について将来支給する年金の現価相当額(以下「年金の現価相当額」という。)」から、「当該年金受給者に係る年金の支払いに充当すべき将来の保険金収入の現価相当額」(公費負担)を控除した額とされた。これは、次年度以降の保険料(保険金)収入と公費投入を見込む事業年度末現在積み立てるべき金額である。

また、年金の現価相当額については、「年金受給者の年金額に、年1.5%の予定利率(ただし、平成20年4月1日前において年金受給者または加入者(平成20年4月1日以降の口数追加に係る分を除く。)であった者の年金額については、年2.8%の予定利率とする。)及び別途定める障害者死亡率を基礎としてその者の年齢に応じて算出する年金現価率を乗じて計算した額を合算した額」とされた。

なお、平成30年度決算からは、厚生労働大臣より示された新たな算定方法(上記年金の現価相当額について「」で記載されている内容中の( )の部分削除したもの)により行うこととなる。

### (2) 平成29年度責任準備金の金額

上記の平成29年度決算までの方法により計算した年金の現価相当額は2,009億円、公費負担現価は1,246億円となり、平成29年度末決算における責任準備金は763億円となった。

この責任準備金から平成29年度末現在の年金資産額750億円を差し引いた繰越欠損金は14億円となった。

なお、公費負担現価については、平成29年度以降の公費負担現価1,452億円のうち、受給者分を1,246億円、加入者分を206億円としている。

ここで、加入者分206億円については、加入者の年金の現価相当額1,477億円から保険金現価1,271億円を控除することにより、算出したものである。



## 5. まとめ

---

- 平成19年度、国において、「心身障害者扶養保険検討委員会」が設置され、この報告書の中で、「今後も制度を継続し、現行の制度の枠組みを基本としつつも、現在の経済状況を踏まえ、長期にわたって安定的に持続可能な制度へと見直すことが適当であり、現在ある積立不足に対応する措置を講ずるだけでなく、新たな積立不足を発生させないための措置を講ずるべきである。」とされている。これを受け、平成20年4月から、保険料水準の見直し、公費による財政支援の延長等を骨子とした制度改正が実施されるに至った。
- 福祉医療機構の中期目標においても、「扶養保険事業の安定的な運営を図り、将来にわたり障害者に対する年金給付を確実にを行うため、毎年度、扶養保険事業の財政状況を検証するとともに、加入者等に対し公表すること。なお、国においては少なくとも5年ごとに保険料水準等の見直しを行なうこととしていることから、基礎数値等見直しに必要な情報を提供するとともに、将来的に当該事業の安定的な運営に支障が見込まれる場合には、厚生労働大臣に対しその旨申出をすること。」とされた。
- 平成24年度、前回の制度改正から5年を経過することとなるため、国において保険料水準等の見直しについて検討が行われたが、特段の措置を講じないこととするとの結論に至った。ただし、資産運用環境が短期的に楽観を許さない現状にあったことに鑑み、本検討会においては、引き続き財務状況について長期的観点に立って分析検討し、将来予測を行ってきたところである。
- そして前回の検討から5年が経過した昨年度においては、あらためて国における保険料水準等の見直しについての検討が行われ、保険料及び年金給付等の水準については維持すべきとの結論を得たものの、年金収支における運用利回りの引き下げや積立比率を用いての財政の健全性の検証、その検証結果の公表などの意見があったことから、今年度の将来予測は、昨年度の国における検証結果等を踏まえた上で将来予測を行った。
- 上記のとおり、今年度の将来予測は昨年度の国における検証において用いられた基礎率を前提に、平成29年度末の実績値に基づき行ったが、その結果、昨年度の国における見通しから大幅な乖離もなく推移している。
- また、平成29年度末における責任準備金と年金資産額を対比すると、繰越欠損金は14億円となり、前年度と比較して約16億円減少した。これは、公費負担現価が増加し、責任準備金は昨年度と比較し減少したことと、年金資産額が増加したことによるものである。平成28年1月以降の日銀によるマイナス金利付き量的・質的

金融緩和政策を背景に国内債券市場においては低金利環境が継続しており、リスクを抑制する観点から国内債券を中心に運用を行っている福祉医療機構にとって、足下では厳しい資金運用環境が続いているが、長期的に必要な収益を確保するという観点に立ち、今後も繰越欠損金の解消に向けてより一層最善を尽くすことに期待したい。

- 本事業は、多くの関係者がそれぞれの立場で制度を支えている仕組みであることに留意し、福祉医療機構としては引き続き関係者に十分な情報提供を行っていく必要がある。

## Ⅱ 平成29年度決算データによる将来予測結果

### 1 計算の前提

#### (1) 基礎数値

平成29年度末実績値

	全体	特例加入者 (注)	平成20年4月1日前の 加入者のうち特例加入 者以外の加入者	平成20年4月1日 以降加入者
加入者数	64,952人	19,046人	41,596人	4,310人
加入者平均年齢	73.5歳	81.2歳	71.8歳	55.8歳
障害者平均年齢	43.2歳	52.2歳	41.1歳	22.6歳
保険料免除者数	44,586人	18,830人	25,756人	0人
年金受給者数	56,534人	56,502人		32人
年金受給者平均年齢	60.6歳	60.6歳		36.2歳
保険資産	89,293,118千円			
年金資産	74,977,049千円			

(注) 第2次改正(昭和61年4月～)以前の旧第1保険(平成7年12月31日以前までの保険区分であって、加入者の年齢が45歳未満の者を対象とした保険)の1口目の加入者

## (2)基礎率

	算定基礎
障害者死亡率	平成15～17年度実績を基礎とし100歳まで
加入者死亡率	平成24～28年度実績を基礎とし105歳まで以下の2つに区分けし、かつ105歳まで ・加入者男性 ・加入者女性
脱退率	平成24～28年度実績を基礎とし64歳まで

## (3)将来の新規加入者数

新規加入者数	毎年度500人
--------	---------

※参考として、毎年度1000人(平成20年制度改正以前の平均加入者数による参考検証)及び現在加入者のみ(今後新規加入者がゼロであっても制度を維持できるかどうかを参考検証)の場合も推計した。

## (4)保険料

(単位:円)

加入時年齢(注)	特例加入者	平成20年4月1日前の加入者のうち特例加入者以外の加入者	平成20年4月1日以降加入者
35歳未満	5,600	5,600	9,300
35歳以上40歳未満	6,900	6,900	11,400
40歳以上45歳未満	8,700	8,700	14,300
45歳以上50歳未満	10,600	10,600	17,300
50歳以上55歳未満	10,600	11,600	18,800
55歳以上60歳未満	10,600	12,800	20,700
60歳以上65歳未満	10,600	14,500	23,300

(注)特例加入者については、昭和61年4月1日現在の年齢

## (5)公費負担

	平成30～40年度	平成41年度	平成42～65年度	平成66年度
特例保険料	46億円	31億円	—	—
特例保険金	46億円	61億円	92億円	69億円

## (6)運用利回り

保険収支	: 1.5%
年金収支	: 1.5%

※積立比率の算出ケースとしてのみ使用

保険収支	: 0.25%
年金収支	: 0.25%

## (参考1)弔慰金給付保険金

(単位:円)

加入期間	平成20年3月31日以前加入者	平成20年4月1日以降加入者
1年以上～5年未満	30,000	50,000
5年以上～20年未満	75,000	125,000
20年以上	150,000	250,000

## (参考2)脱退一時金給付保険金

(単位:円)

加入期間	平成20年3月31日以前加入者	平成20年4月1日以降加入者
5年以上～10年未満	45,000	75,000
10年以上～20年未満	75,000	125,000
20年以上	150,000	250,000

## 2 人数の推移

### (1) 加入者数の推移(新規加入者数500人)

(単位:人,歳)

年次	年度 (平成)	年度始 加入者数	新規 加入者数	加入者 死亡数	障害者 死亡数	脱退者数	年度末 加入者数	保険料 免除者数	平均年齢
0	29						64,952	44,586	73.5
1	30	64,952	500	2,498	467	39	62,448	43,433	73.9
2	31	62,448	500	2,464	457	37	59,989	41,738	74.2
3	32	59,989	500	2,466	448	36	57,539	40,004	74.5
4	33	57,539	500	2,462	438	34	55,104	38,179	74.8
5	34	55,104	500	2,450	427	33	52,694	36,451	75.1
6	35	52,694	500	2,429	414	32	50,319	34,692	75.3
7	36	50,319	500	2,400	401	31	47,987	33,052	75.5
8	37	47,987	500	2,362	386	30	45,710	31,570	75.6
9	38	45,710	500	2,314	370	29	43,497	30,088	75.7
10	39	43,497	500	2,259	354	28	41,356	28,685	75.7
11	40	41,356	500	2,195	339	27	39,295	28,168	75.8
12	41	39,295	500	2,125	323	26	37,320	26,596	75.7
13	42	37,320	500	2,050	308	26	35,437	24,833	75.6
14	43	35,437	500	1,969	293	25	33,650	23,170	75.5
15	44	33,650	500	1,884	278	25	31,963	21,526	75.4
16	45	31,963	500	1,797	263	24	30,379	20,038	75.1
17	46	30,379	500	1,708	248	24	28,899	18,568	74.9
18	47	28,899	500	1,618	234	24	27,523	17,180	74.6
19	48	27,523	500	1,528	221	23	26,250	15,990	74.3
20	49	26,250	500	1,440	209	23	25,078	14,861	73.9
21	50	25,078	500	1,353	197	23	24,005	14,309	73.5
22	51	24,005	500	1,269	186	22	23,028	13,358	73.1
23	52	23,028	500	1,188	175	22	22,143	12,513	72.7
24	53	22,143	500	1,110	165	22	21,345	11,731	72.3
25	54	21,345	500	1,037	156	22	20,629	11,029	71.9

(参考推計)

30	59	18,475	500	747	122	22	18,084	8,475	70.1
35	64	16,948	500	578	103	22	16,745	7,153	68.8
40	69	16,158	500	490	93	22	16,053	6,463	68.1
45	74	15,749	500	443	88	22	15,696	6,107	67.6
50	79	15,553	500	415	85	22	15,531	5,942	67.3

#### 概要

- ・ 加入者数は、今後、年々減少を続け、10年後には約4万1千人強となり、さらに減少を続ける。
- ・ 保険料免除者数も、加入者数の減少に伴い、年々減少を続ける。
- ・ 加入者の平均年齢は、毎年徐々に上昇し、平成40年度末の75.8歳がピークとなり、その後は下降していく。

(2) 年金受給者数の推移(新規加入者数500人)

(単位:人, 歳, %)

年次	年度 (平成)	年度始年金 受給者数	新 規 裁定者数	失権者数	年度末年金 受給者数	平均年齢	年金受給者数 ÷加入者数
0	29				56,534	60.6	87.0
1	30	56,534	2,498	1,089	57,943	61.2	92.8
2	31	57,943	2,464	1,153	59,254	61.7	98.8
3	32	59,254	2,466	1,221	60,499	62.3	105.1
4	33	60,499	2,462	1,292	61,670	62.9	111.9
5	34	61,670	2,450	1,365	62,755	63.4	119.1
6	35	62,755	2,429	1,441	63,743	64.0	126.7
7	36	63,743	2,400	1,519	64,623	64.5	134.7
8	37	64,623	2,362	1,599	65,386	65.0	143.0
9	38	65,386	2,314	1,680	66,020	65.5	151.8
10	39	66,020	2,259	1,761	66,518	66.0	160.8
11	40	66,518	2,195	1,844	66,869	66.6	170.2
12	41	66,869	2,125	1,927	67,068	67.1	179.7
13	42	67,068	2,050	2,008	67,109	67.5	189.4
14	43	67,109	1,969	2,090	66,988	68.0	199.1
15	44	66,988	1,884	2,169	66,703	68.5	208.7
16	45	66,703	1,797	2,245	66,255	69.0	218.1
17	46	66,255	1,708	2,317	65,646	69.4	227.2
18	47	65,646	1,618	2,383	64,881	69.9	235.7
19	48	64,881	1,528	2,444	63,965	70.3	243.7
20	49	63,965	1,440	2,499	62,907	70.7	250.8
21	50	62,907	1,353	2,546	61,714	71.2	257.1
22	51	61,714	1,269	2,586	60,396	71.6	262.3
23	52	60,396	1,188	2,618	58,966	72.0	266.3
24	53	58,966	1,110	2,643	57,433	72.3	269.1
25	54	57,433	1,037	2,659	55,810	72.7	270.5

(参考推計)

30	59	48,678	747	2,638	46,787	74.3	258.7
35	64	39,153	578	2,446	37,285	75.3	222.7
40	69	30,220	490	2,113	28,596	75.4	178.1
45	74	22,853	443	1,670	21,626	74.3	137.8
50	79	17,626	415	1,197	16,844	72.2	108.5

概要

- ・年金受給者数は、新規裁定者数が失権者数を上回っているため年々増加し、平成42年度末の約6万7千人をピークに、その後は減少を続ける。
- ・加入者数に対する年金受給者数は、3年後に年金受給者数が加入者数を上回る。
- ・年金受給者の平均年齢は、毎年徐々に上昇し、平成37年度には65歳を超え、その後も上昇する。

### 3 保険収支予測

運用利回り 1.5% (新規加入者数500人)

(単位: 百万円)

年次	年度 (平成)	収入				支出計 (保険金、弔慰金、 脱退一時金)	収支差引額	保険資産
		収入計	保険料	公費負担	運用収入			
0	29					0	0	89,293
1	30	8,644	2,747	4,600	1,296	8,493	150	89,443
2	31	8,593	2,693	4,600	1,299	8,360	232	89,676
3	32	8,553	2,651	4,600	1,303	8,346	207	89,883
4	33	8,520	2,614	4,600	1,306	8,328	191	90,074
5	34	8,483	2,575	4,600	1,308	8,286	198	90,271
6	35	8,446	2,534	4,600	1,312	8,216	230	90,501
7	36	8,405	2,490	4,600	1,316	8,111	294	90,795
8	37	8,349	2,428	4,600	1,320	7,982	367	91,161
9	38	8,288	2,362	4,600	1,327	7,809	479	91,640
10	39	8,233	2,298	4,600	1,335	7,648	585	92,225
11	40	8,120	2,176	4,600	1,344	7,446	675	92,900
12	41	6,514	2,059	3,100	1,355	7,221	-707	92,193
13	42	3,380	2,034	0	1,346	6,990	-3,610	88,583
14	43	3,334	2,040	0	1,294	6,741	-3,407	85,176
15	44	3,294	2,049	0	1,244	6,490	-3,196	81,980
16	45	3,259	2,060	0	1,199	6,225	-2,966	79,013
17	46	3,228	2,072	0	1,156	5,953	-2,725	76,288
18	47	3,206	2,089	0	1,117	5,694	-2,488	73,801
19	48	3,179	2,096	0	1,082	5,414	-2,235	71,566
20	49	3,148	2,098	0	1,051	5,161	-2,012	69,553
21	50	3,042	2,020	0	1,022	4,909	-1,868	67,686
22	51	2,964	1,968	0	995	4,651	-1,687	65,999
23	52	2,938	1,967	0	972	4,409	-1,471	64,528
24	53	2,916	1,964	0	951	4,193	-1,278	63,250
25	54	2,897	1,963	0	934	3,958	-1,061	62,189

(参考推計)

30	59	2,850	1,964	0	886	3,126	-276	59,383
35	64	2,847	1,962	0	885	2,663	184	59,519
40	69	2,871	1,962	0	909	2,440	431	61,255
45	74	2,908	1,962	0	946	2,343	565	63,830
50	79	2,954	1,962	0	992	2,285	670	66,978

#### 概要

- ・ 保険料収入は、加入者数の減少により年々減少傾向である。
- ・ 支出(保険金、弔慰金、脱退一時金)についても、年々減少を続ける。
- ・ 平成30年度から平成40年度まで、収支が黒字となるものの、公費投入の最終年度となる平成41年度以降は資産を取り崩すことによって支出を賅っていく。

#### 4 年金収支予測

運用利回り 1.5%(新規加入者数500人)

(単位:百万円)

年次	年度 (平成)	収入				支出	収支差引額	年金資産
		収入計	保険金	公費負担	運用収入			
0	29					0	0	74,977
1	30	14,110	8,425	4,600	1,085	13,737	373	75,350
2	31	13,981	8,294	4,600	1,087	14,064	-83	75,268
3	32	13,965	8,281	4,600	1,084	14,370	-406	74,862
4	33	13,940	8,265	4,600	1,075	14,660	-721	74,142
5	34	13,886	8,224	4,600	1,062	14,931	-1,045	73,096
6	35	13,800	8,156	4,600	1,044	15,180	-1,380	71,716
7	36	13,673	8,053	4,600	1,021	15,404	-1,731	69,986
8	37	13,518	7,925	4,600	992	15,601	-2,083	67,902
9	38	13,313	7,754	4,600	959	15,769	-2,456	65,447
10	39	13,115	7,595	4,600	920	15,905	-2,790	62,657
11	40	12,870	7,394	4,600	876	16,006	-3,137	59,520
12	41	14,097	7,171	6,100	826	16,072	-1,975	57,545
13	42	16,938	6,943	9,200	795	16,101	836	58,381
14	43	16,701	6,696	9,200	806	16,092	610	58,991
15	44	16,460	6,447	9,200	813	16,043	417	59,408
16	45	16,203	6,185	9,200	818	15,955	248	59,656
17	46	15,935	5,915	9,200	821	15,828	107	59,763
18	47	15,679	5,657	9,200	822	15,663	16	59,779
19	48	15,400	5,379	9,200	821	15,462	-62	59,717
20	49	15,148	5,128	9,200	820	15,225	-77	59,641
21	50	14,897	4,878	9,200	819	14,954	-58	59,583
22	51	14,639	4,620	9,200	819	14,653	-14	59,569
23	52	14,399	4,380	9,200	819	14,323	76	59,645
24	53	14,187	4,166	9,200	821	13,968	219	59,864
25	54	13,958	3,932	9,200	826	13,589	368	60,232

(参考推計)

30	59	13,203	3,104	9,200	900	11,456	1,748	65,881
35	64	12,945	2,643	9,200	1,102	9,173	3,773	80,498
40	69	3,574	2,421	0	1,153	7,058	-3,484	75,681
45	74	3,273	2,324	0	948	5,337	-2,065	62,646
50	79	3,102	2,266	0	835	4,136	-1,035	55,582

#### 概要

- ・ 保険金収入は、年々減少する。
- ・ 支出は、年々増加するが、平成42年度をピークにその後は減少を続ける。
- ・ 平成31年度から平成41年度までは、収支が赤字になるが、公費投入額が増加する平成42年度以降の収支は黒字となり資産も増加する。
- ・ 公費負担終了後の平成67年度以降は、資産を取り崩すことで支出を賄っていく。



参考1 新規加入者1000人の場合

○ 人数の推移

(1) 加入者数の推移(新規加入者数1000人)

(単位:人,歳)

年次	年度 (平成)	年度始 加入者数	新規 加入者数	加入者 死亡数	障害者 死亡数	脱退者数	年度末 加入者数	保険料 免除者数	平均年齢
0	29						64,952	44,586	73.5
1	30	64,952	1,000	2,499	469	41	62,943	43,433	73.7
2	31	62,943	1,000	2,466	461	40	60,976	41,738	73.8
3	32	60,976	1,000	2,470	453	40	59,013	40,004	74.0
4	33	59,013	1,000	2,467	445	40	57,060	38,179	74.0
5	34	57,060	1,000	2,456	436	40	55,128	36,451	74.1
6	35	55,128	1,000	2,437	425	40	53,227	34,692	74.1
7	36	53,227	1,000	2,410	413	40	51,364	33,052	74.0
8	37	51,364	1,000	2,374	399	40	49,551	31,570	73.9
9	38	49,551	1,000	2,328	385	40	47,798	30,088	73.8
10	39	47,798	1,000	2,275	371	40	46,111	28,685	73.6
11	40	46,111	1,000	2,214	357	41	44,500	28,168	73.4
12	41	44,500	1,000	2,147	343	41	42,969	26,596	73.1
13	42	42,969	1,000	2,075	329	41	41,524	24,833	72.8
14	43	41,524	1,000	1,998	316	41	40,169	23,170	72.5
15	44	40,169	1,000	1,917	302	41	38,908	21,526	72.1
16	45	38,908	1,000	1,834	289	42	37,743	20,038	71.8
17	46	37,743	1,000	1,750	276	42	36,675	18,568	71.4
18	47	36,675	1,000	1,665	264	42	35,704	17,180	71.0
19	48	35,704	1,000	1,581	252	42	34,828	15,990	70.5
20	49	34,828	1,000	1,499	242	43	34,044	14,861	70.1
21	50	34,044	1,000	1,419	232	43	33,350	14,567	69.7
22	51	33,350	1,000	1,342	222	43	32,744	13,883	69.4
23	52	32,744	1,000	1,269	214	43	32,218	13,311	69.0
24	53	32,218	1,000	1,199	205	43	31,770	12,800	68.7
25	54	31,770	1,000	1,135	198	43	31,394	12,366	68.4

(参考推計)

30	59	30,480	1,000	895	173	44	30,368	11,185	67.3
35	64	30,216	1,000	783	163	44	30,226	11,045	66.9
40	69	30,358	1,000	751	162	44	30,401	11,222	66.9
45	74	30,570	1,000	755	163	44	30,608	11,430	67.0
50	79	30,736	1,000	766	165	44	30,761	11,583	67.1

参考1 全体概要

- ・ 加入者数の推移…新規加入者500人の推計(以下「500人推計」という。)と比較すると、加入者の平均年齢のピーク時年齢は異なり、かつ到達が早まる(5年後の74.1歳がピークであり、その後下降し続ける)が、その他の動きはほぼ同様である。
- ・ 保険収支…保険料収入は増加傾向であり、平成30年度から黒字が続き、公費負担終了後の平成42年度から50年度まで赤字となるが、平成51年度以降はプラスに転じる。
- ・ その他…年金受給者数の推移及び年金収支の動きは500人推計とほぼ同様である。

## (2) 年金受給者数の推移(新規加入者数1000人)

(単位:人, 歳, %)

年次	年度 (平成)	年度始年金 受給者数	新 規 裁定者数	失権者数	年度末年金 受給者数	平均年齢	年金受給者数 ÷加入者数
0	29				56,534	60.6	87.0
1	30	56,534	2,499	1,089	57,944	61.2	92.1
2	31	57,944	2,466	1,153	59,257	61.7	97.2
3	32	59,257	2,470	1,221	60,506	62.3	102.5
4	33	60,506	2,467	1,292	61,681	62.9	108.1
5	34	61,681	2,456	1,365	62,773	63.4	113.9
6	35	62,773	2,437	1,441	63,769	63.9	119.8
7	36	63,769	2,410	1,520	64,659	64.5	125.9
8	37	64,659	2,374	1,600	65,433	65.0	132.1
9	38	65,433	2,328	1,680	66,081	65.5	138.3
10	39	66,081	2,275	1,761	66,595	66.0	144.4
11	40	66,595	2,214	1,844	66,965	66.5	150.5
12	41	66,965	2,147	1,927	67,185	67.0	156.4
13	42	67,185	2,075	2,009	67,252	67.5	162.0
14	43	67,252	1,998	2,090	67,159	67.9	167.2
15	44	67,159	1,917	2,170	66,907	68.4	172.0
16	45	66,907	1,834	2,246	66,495	68.8	176.2
17	46	66,495	1,750	2,318	65,927	69.3	179.8
18	47	65,927	1,665	2,384	65,208	69.7	182.6
19	48	65,208	1,581	2,446	64,344	70.1	184.7
20	49	64,344	1,499	2,501	63,342	70.5	186.1
21	50	63,342	1,419	2,548	62,213	70.9	186.5
22	51	62,213	1,342	2,588	60,966	71.3	186.2
23	52	60,966	1,269	2,622	59,613	71.6	185.0
24	53	59,613	1,199	2,647	58,166	71.9	183.1
25	54	58,166	1,135	2,664	56,637	72.3	180.4

(参考推計)

30	59	49,966	895	2,648	48,213	73.4	158.8
35	64	41,231	783	2,464	39,549	73.8	130.8
40	69	33,320	751	2,145	31,926	72.9	105.0
45	74	27,167	755	1,722	26,200	70.9	85.6
50	79	23,269	766	1,278	22,757	68.3	74.0

○ 保険収支予測

運用利回り 1.5% (新規加入者数1000人)

(単位:百万円)

年次	年度 (平成)	収入				支出計 (保険金、弔慰金、 脱退一時金)	収支差引額	保険資産
		収入計	保険料	公費負担	運用収入			
0	29					0	0	89,293
1	30	8,748	2,851	4,600	1,297	8,502	246	89,539
2	31	8,802	2,900	4,600	1,302	8,379	423	89,961
3	32	8,868	2,959	4,600	1,309	8,376	492	90,453
4	33	8,940	3,023	4,600	1,317	8,369	571	91,024
5	34	9,010	3,084	4,600	1,326	8,339	671	91,695
6	35	9,079	3,142	4,600	1,337	8,283	796	92,492
7	36	9,145	3,195	4,600	1,350	8,192	953	93,445
8	37	9,196	3,231	4,600	1,365	8,079	1,118	94,563
9	38	9,244	3,260	4,600	1,384	7,923	1,321	95,884
10	39	9,296	3,291	4,600	1,405	7,779	1,517	97,401
11	40	9,292	3,264	4,600	1,429	7,598	1,695	99,096
12	41	7,794	3,238	3,100	1,455	7,395	399	99,494
13	42	4,769	3,305	0	1,463	7,189	-2,420	97,074
14	43	4,830	3,401	0	1,429	6,966	-2,136	94,938
15	44	4,898	3,499	0	1,400	6,744	-1,846	93,092
16	45	4,971	3,596	0	1,375	6,511	-1,540	91,553
17	46	5,048	3,694	0	1,354	6,272	-1,225	90,328
18	47	5,132	3,794	0	1,338	6,049	-917	89,411
19	48	5,210	3,883	0	1,327	5,807	-597	88,814
20	49	5,285	3,965	0	1,320	5,595	-310	88,504
21	50	5,224	3,907	0	1,316	5,388	-164	88,340
22	51	5,187	3,872	0	1,315	5,174	13	88,353
23	52	5,200	3,883	0	1,317	4,980	220	88,573
24	53	5,214	3,892	0	1,322	4,815	399	88,972
25	54	5,230	3,901	0	1,329	4,632	598	89,570

(参考推計)

30	59	5,323	3,923	0	1,400	4,090	1,233	94,641
35	64	5,428	3,924	0	1,503	3,937	1,491	101,723
40	69	5,541	3,924	0	1,617	4,006	1,534	109,377
45	74	5,653	3,924	0	1,730	4,164	1,489	116,916
50	79	5,763	3,924	0	1,839	4,303	1,460	124,260

○ 年金収支予測

運用利回り 1.5% (新規加入者数1000人)

(単位:百万円)

年次	年度 (平成)	収入				支出	収支差引額	年金資産
		収入計	保険金	公費負担	運用収入			
0	29					0	0	74,977
1	30	14,119	8,434	4,600	1,085	13,737	382	75,359
2	31	14,000	8,313	4,600	1,087	14,064	-64	75,295
3	32	13,995	8,311	4,600	1,084	14,372	-377	74,918
4	33	13,981	8,305	4,600	1,076	14,662	-681	74,237
5	34	13,940	8,277	4,600	1,064	14,934	-994	73,243
6	35	13,868	8,222	4,600	1,047	15,185	-1,317	71,926
7	36	13,757	8,132	4,600	1,025	15,411	-1,654	70,272
8	37	13,618	8,020	4,600	997	15,611	-1,993	68,278
9	38	13,431	7,866	4,600	965	15,782	-2,350	65,928
10	39	13,252	7,725	4,600	928	15,921	-2,669	63,259
11	40	13,029	7,544	4,600	886	16,027	-2,998	60,261
12	41	14,281	7,343	6,100	839	16,098	-1,817	58,445
13	42	17,148	7,139	9,200	809	16,132	1,016	59,460
14	43	16,941	6,918	9,200	823	16,129	812	60,272
15	44	16,732	6,698	9,200	834	16,088	644	60,916
16	45	16,509	6,466	9,200	842	16,008	501	61,417
17	46	16,279	6,230	9,200	849	15,891	388	61,805
18	47	16,063	6,009	9,200	854	15,736	327	62,132
19	48	15,827	5,768	9,200	859	15,546	280	62,412
20	49	15,620	5,557	9,200	863	15,322	298	62,710
21	50	15,419	5,351	9,200	868	15,067	352	63,062
22	51	15,212	5,138	9,200	874	14,782	431	63,493
23	52	15,026	4,945	9,200	881	14,470	557	64,050
24	53	14,871	4,780	9,200	891	14,133	738	64,788
25	54	14,702	4,599	9,200	903	13,776	925	65,713

(参考推計)

30	59	14,284	4,058	9,200	1,026	11,782	2,503	74,742
35	64	14,396	3,905	9,200	1,291	9,694	4,702	93,677
40	69	5,389	3,973	0	1,416	7,830	-2,440	93,880
45	74	5,421	4,130	0	1,291	6,404	-983	86,212
50	79	5,526	4,268	0	1,257	5,523	3	84,458

参考2 現在加入者のみの場合

○ 人数の推移

(1) 加入者数の推移(現在加入者のみの場合)

(単位:人,歳)

年次	年度 (平成)	年度始 加入者数	新規 加入者数	加入者 死亡数	障害者 死亡数	脱退者数	年度末 加入者数	保険料 免除者数	平均年齢
0	29						64,952	44,586	73.5
1	30	64,952	0	2,497	465	38	61,952	43,433	74.0
2	31	61,952	0	2,462	454	34	59,002	41,738	74.6
3	32	59,002	0	2,463	443	31	56,065	40,004	75.1
4	33	56,065	0	2,457	431	29	53,148	38,179	75.6
5	34	53,148	0	2,444	418	26	50,260	36,451	76.1
6	35	50,260	0	2,421	404	24	47,411	34,692	76.6
7	36	47,411	0	2,390	389	22	44,610	33,052	77.1
8	37	44,610	0	2,350	372	19	41,868	31,570	77.6
9	38	41,868	0	2,300	355	17	39,196	30,088	78.0
10	39	39,196	0	2,242	338	16	36,600	28,685	78.4
11	40	36,600	0	2,176	320	14	34,090	28,168	78.8
12	41	34,090	0	2,103	303	12	31,671	26,596	79.2
13	42	31,671	0	2,024	287	11	29,350	24,833	79.6
14	43	29,350	0	1,940	270	9	27,130	23,170	80.0
15	44	27,130	0	1,851	253	8	25,018	21,526	80.3
16	45	25,018	0	1,759	237	7	23,015	20,038	80.7
17	46	23,015	0	1,665	221	6	21,123	18,568	81.0
18	47	21,123	0	1,571	205	5	19,342	17,180	81.3
19	48	19,342	0	1,475	190	4	17,673	15,990	81.6
20	49	17,673	0	1,381	176	3	16,112	14,861	81.9
21	50	16,112	0	1,287	163	2	14,660	14,051	82.2
22	51	14,660	0	1,196	150	2	13,313	12,832	82.4
23	52	13,313	0	1,107	137	2	12,067	11,716	82.7
24	53	12,067	0	1,021	126	1	10,919	10,663	83.0
25	54	10,919	0	939	114	1	9,864	9,693	83.2

(参考推計)

30	59	6,471	0	599	71	0	5,800	5,765	84.6
35	64	3,679	0	373	42	0	3,264	3,261	86.3
40	69	1,957	0	228	24	0	1,705	1,704	88.4
45	74	927	0	131	13	0	784	784	90.8
50	79	370	0	64	6	0	301	301	93.2

参考2 全体概要

- ・ 加入者数の推移…500人推計と比較すると、平均年齢は上昇し続けるが、その他の動きはほぼ同様である。
- ・ 保険収支…500人推計と比較すると資産を取り崩し続けることになるが、その他の動きはほぼ同様である。
- ・ その他…年金受給者数の推移及び年金収支の動きは、500人推計とほぼ同様である。

## (2) 年金受給者数の推移(現在加入者のみの場合)

(単位:人, 歳, %)

年次	年度 (平成)	年度始年金 受給者数	新 規 裁定者数	失権者数	年度末年金 受給者数	平均年齢	年金受給者数 ÷加入者数
0	29				56,534	60.6	87.0
1	30	56,534	2,497	1,089	57,942	61.2	93.5
2	31	57,942	2,462	1,153	59,251	61.7	100.4
3	32	59,251	2,463	1,221	60,493	62.3	107.9
4	33	60,493	2,457	1,292	61,658	62.9	116.0
5	34	61,658	2,444	1,365	62,737	63.4	124.8
6	35	62,737	2,421	1,441	63,717	64.0	134.4
7	36	63,717	2,390	1,519	64,588	64.5	144.8
8	37	64,588	2,350	1,599	65,338	65.0	156.1
9	38	65,338	2,300	1,679	65,959	65.6	168.3
10	39	65,959	2,242	1,761	66,440	66.1	181.5
11	40	66,440	2,176	1,844	66,773	66.6	195.9
12	41	66,773	2,103	1,926	66,950	67.1	211.4
13	42	66,950	2,024	2,008	66,966	67.6	228.2
14	43	66,966	1,940	2,089	66,817	68.1	246.3
15	44	66,817	1,851	2,168	66,500	68.6	265.8
16	45	66,500	1,759	2,244	66,016	69.1	286.8
17	46	66,016	1,665	2,316	65,365	69.6	309.5
18	47	65,365	1,571	2,382	64,554	70.1	333.7
19	48	64,554	1,475	2,443	63,587	70.5	359.8
20	49	63,587	1,381	2,497	62,471	71.0	387.7
21	50	62,471	1,287	2,544	61,214	71.4	417.6
22	51	61,214	1,196	2,583	59,827	71.9	449.4
23	52	59,827	1,107	2,615	58,318	72.3	483.3
24	53	58,318	1,021	2,640	56,700	72.8	519.3
25	54	56,700	939	2,655	54,984	73.2	557.4

(参考推計)

30	59	47,391	599	2,629	45,361	75.2	782.0
35	64	37,075	373	2,428	35,020	77.0	1,072.9
40	69	27,119	228	2,081	25,266	78.6	1,482.2
45	74	18,538	131	1,617	17,052	79.6	2,176.0
50	79	11,984	64	1,116	10,932	80.3	3,634.1

○ 保険収支予測

運用利回り 1.5% (現在加入者のみの場合)

(単位: 百万円)

年次	年度 (平成)	収入				支出計 (保険金、弔慰金、 脱退一時金)	収支差引額	保険資産
		収入計	保険料	公費負担	運用収入			
0	29					0	0	89,293
1	30	8,539	2,644	4,600	1,296	8,484	55	89,348
2	31	8,383	2,487	4,600	1,296	8,342	42	89,390
3	32	8,239	2,343	4,600	1,296	8,317	-78	89,312
4	33	8,099	2,205	4,600	1,294	8,287	-188	89,123
5	34	7,957	2,066	4,600	1,291	8,233	-276	88,847
6	35	7,813	1,927	4,600	1,286	8,150	-337	88,510
7	36	7,665	1,784	4,600	1,281	8,031	-366	88,145
8	37	7,501	1,626	4,600	1,275	7,886	-385	87,760
9	38	7,333	1,463	4,600	1,270	7,696	-363	87,397
10	39	7,169	1,305	4,600	1,265	7,516	-347	87,050
11	40	6,949	1,089	4,600	1,259	7,294	-345	86,705
12	41	5,234	879	3,100	1,254	7,046	-1,813	84,892
13	42	1,992	764	0	1,228	6,792	-4,800	80,092
14	43	1,837	679	0	1,158	6,515	-4,678	75,414
15	44	1,689	600	0	1,089	6,236	-4,546	70,868
16	45	1,547	524	0	1,023	5,940	-4,393	66,474
17	46	1,409	451	0	958	5,634	-4,225	62,249
18	47	1,280	384	0	897	5,339	-4,058	58,191
19	48	1,147	309	0	838	5,020	-3,873	54,317
20	49	1,012	231	0	781	4,726	-3,714	50,603
21	50	860	133	0	727	4,431	-3,571	47,032
22	51	740	65	0	675	4,127	-3,387	43,645
23	52	676	50	0	626	3,837	-3,161	40,483
24	53	617	36	0	581	3,572	-2,955	37,529
25	54	564	25	0	539	3,284	-2,720	34,808

(参考推計)

30	59	377	5	0	373	2,161	-1,784	24,124
35	64	267	0	0	266	1,389	-1,122	17,315
40	69	201	0	0	201	873	-673	13,132
45	74	163	0	0	163	521	-359	10,744
50	79	145	0	0	145	266	-121	9,697

○ 年金収支予測

運用利回り 1.5% (現在加入者のみの場合)

(単位: 百万円)

年次	年度 (平成)	収入				支出	収支差引額	年金資産
		収入計	保険金	公費負担	運用収入			
0	29					0	0	74,977
1	30	14,101	8,416	4,600	1,085	13,737	364	75,341
2	31	13,962	8,275	4,600	1,087	14,063	-101	75,240
3	32	13,935	8,252	4,600	1,083	14,369	-434	74,806
4	33	13,898	8,224	4,600	1,074	14,658	-760	74,046
5	34	13,831	8,171	4,600	1,060	14,927	-1,096	72,950
6	35	13,731	8,090	4,600	1,041	15,174	-1,443	71,507
7	36	13,590	7,973	4,600	1,017	15,397	-1,807	69,700
8	37	13,418	7,830	4,600	988	15,591	-2,174	67,527
9	38	13,195	7,643	4,600	952	15,756	-2,561	64,966
10	39	12,977	7,465	4,600	912	15,888	-2,911	62,054
11	40	12,710	7,244	4,600	866	15,986	-3,276	58,779
12	41	13,913	6,999	6,100	814	16,047	-2,134	56,645
13	42	16,727	6,747	9,200	780	16,070	657	57,302
14	43	16,461	6,473	9,200	788	16,054	407	57,709
15	44	16,188	6,196	9,200	792	15,998	190	57,900
16	45	15,897	5,903	9,200	794	15,902	-5	57,894
17	46	15,592	5,600	9,200	792	15,766	-174	57,720
18	47	15,295	5,306	9,200	789	15,590	-295	57,425
19	48	14,974	4,990	9,200	784	15,377	-403	57,022
20	49	14,676	4,698	9,200	777	15,127	-451	56,571
21	50	14,375	4,404	9,200	771	14,842	-467	56,103
22	51	14,066	4,102	9,200	764	14,525	-459	55,645
23	52	13,772	3,815	9,200	757	14,177	-405	55,239
24	53	13,503	3,551	9,200	752	13,802	-299	54,940
25	54	13,213	3,265	9,200	748	13,402	-189	54,752

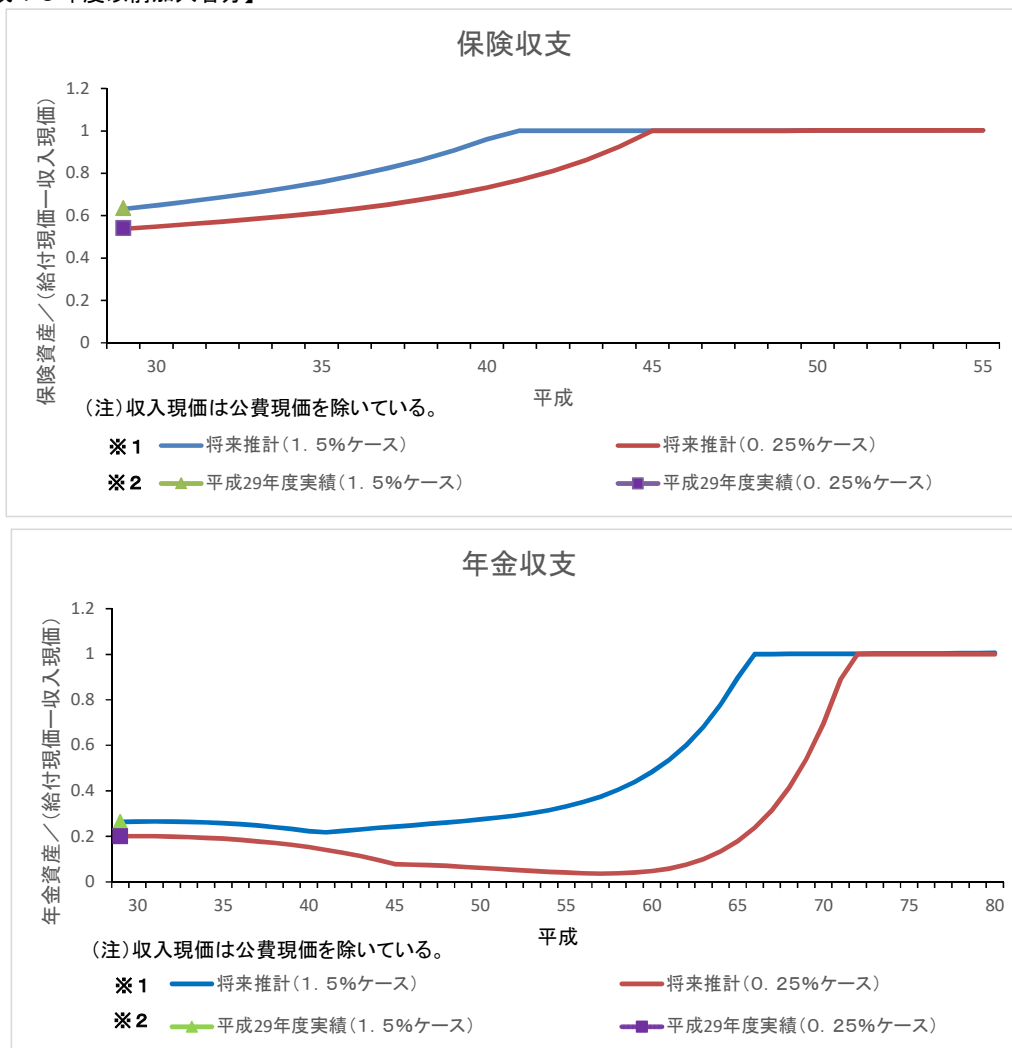
(参考推計)

30	59	12,123	2,149	9,200	773	11,130	992	57,021
35	64	11,494	1,381	9,200	913	8,651	2,843	67,318
40	69	1,759	869	0	890	6,286	-4,528	57,482
45	74	1,124	519	0	605	4,271	-3,147	39,080
50	79	678	265	0	413	2,750	-2,072	26,707



## 5 積立比率について

【平成19年度以前加入者分】



※1 将来推計  
グラフ中における各線については、昨年度の国における検討会において用いられた基礎数値に基づき示された見通しのうち、運用利回りを1.5%としたケースと0.25%（標準利率）としたケースである。（平成29年度についてのみ、国において示された基礎数値に基づき機構において積算）

※2 平成29年度実績  
各実績については、本推計の基礎数値を用いて、運用利回りを1.5%としたケースと0.25%（標準利率）としたケースで算出したもの。

【保険収支】 1.5%ケース：0.6、0.25%ケース：0.5  
【年金収支】 1.5%ケース：0.3、0.25%ケース：0.2

【平成20年度以降加入者分】

平成29年度実績  
【保険収支】 1.4  
【年金収支】 1.1

### 【結論】

上記のグラフのとおり、平成19年度以前加入者分については、公費投入期間中であることから各積立比率は「1」を割っているものの、昨年度の国の検討会での検証より1年しか経過していないため、本推計時の実績は国の見通しから大きな乖離は生じていない。

また、平成20年度以降加入者分については、保険収支、年金収支ともに積立比率が「1」を上回っている。

## 6 責任準備金（平成29年度末現在）

（単位：百万円）

	平成29年度	平成28年度	増減
① 年金の現価相当額 [受給者分]	200,925	200,903	22
② 公費負担現価[受給者分]	124,576	123,796	780
③ 責任準備金の額(①－②)	76,349	77,107	-758
④ 年金資産額	74,977	74,088	889
⑤ 繰越欠損金(③－④)	1,372	3,019	-1,647

（注）単位未満端数四捨五入のため、合計等が一致しないことがある。

※ 予定利率は、2.8%（平成19年度以前加入者分）、1.5%（平成20年度以降加入者分）である。

### （公費負担現価[受給者分]の算定）

（単位：百万円）

	平成29年度	平成28年度	増減
⑥ 公費負担現価の総額	145,173	145,694	-521
⑦ 公費負担現価 [加入者分(※2)]	20,597	21,897	-1,300
② 公費負担現価 [受給者分(※1)](⑥－⑦)	124,576	123,796	780

（注）単位未満端数四捨五入のため、合計等が一致しないことがある。

（※1）受給者分とは、当該年度末における受給者のうち、平成19年度以前加入者に係るものである。

（※2）加入者分とは、当該年度末における加入者のうち、平成19年度以前加入者に係るものである。

### （公費負担現価[加入者分]の算定）

（単位：百万円）

	平成29年度	平成28年度	増減
⑧ 年金の現価相当額 [加入者分]	147,728	153,679	-5,952
⑨ 保険金現価	127,131	131,782	-4,651
⑦ 公費負担現価 [加入者分](⑧－⑨)	20,597	21,897	-1,300

（注）単位未満端数四捨五入のため、合計等が一致しないことがある。

※ 当該年度末における加入者のうち、平成19年度以前加入者に係るものである。

## ○ 心身障害者扶養保険事業財務状況検討会委員名簿

(50音順、敬称略)

氏 名	所 属・職 名
清 水 時 彦	JPインベストメント株式会社 代表取締役社長
鈴 木 裕 子	公認会計士
栃 本 一 三 郎	上智大学総合人間科学部 教授
◎ 府 川 哲 夫	特定非営利活動法人 福祉未来研究所 代表
○ 村 山 令 二	健康保険組合連合会 参与 (公社) 日本年金数理人会 副理事長

◎印は座長、○は副座長